

**CASBEE-広島 (2010年ver.1)**  
**(仮称)リプレストII**

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります  
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE\_広島 2009年版  
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.3</b>
<b>Q1 室内環境</b>			0.40					<b>2.8</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15	<b>2.3</b>	1.00			<b>2.4</b>
<b>1.1 騒音</b>		<b>3.0</b>	0.67	<b>3.0</b>	0.40			
1	暗騒音レベル	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00			
2	設備騒音対策							
<b>1.2 遮音</b>		-	-	<b>2.3</b>	0.40			
1	開口部遮音性能	-	-	<b>3.0</b>	0.30			
2	界壁遮音性能	-	-	<b>2.0</b>	0.30			
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	-	<b>2.0</b>	0.20			
4	界床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	<b>2.0</b>	0.20			
<b>1.3 吸音</b>		<b>3.0</b>	0.33	<b>1.0</b>	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.0</b>	0.35	<b>2.6</b>	1.00			<b>2.6</b>
<b>2.1 室温制御</b>		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.50			
1	室温設定	-	-	<b>3.0</b>	0.63			
2	負荷変動 追従制御性	-	-					
3	外皮性能	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.38			
4	ゾーン別制御性	-	-					
5	温度・湿度制御	-	-					
6	個別制御	-	-					
7	時間外空調に対する配慮	-	-					
8	監視システム	-	-					
<b>2.2 湿度制御</b>		-	-	<b>1.0</b>	0.20			
<b>2.3 空調方式</b>		-	-	<b>3.0</b>	0.30			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.2</b>	0.25	<b>3.5</b>	1.00			<b>3.2</b>
<b>3.1 昼光利用</b>		<b>4.2</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50			
1	昼光率	建築物・共用部分: 2.5 ≤ 昼光率 住宅部分: 2.0 ≤ 昼光率		<b>5.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.50	
2	方位別開口			<b>3.0</b>	0.30			
3	昼光利用設備	<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.20			
<b>3.2 グレア対策</b>		<b>1.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50			
1	照明器具のグレア							
2	昼光制御	<b>1.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00			
<b>3.3 照度</b>		<b>3.0</b>	0.15	-	-			
1	照度	<b>3.0</b>	1.00	-	-			
2	照度均斉度							
<b>3.4 照明制御</b>		<b>1.0</b>	0.25	-	-			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	1.00			<b>3.0</b>
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.63			
1	化学汚染物質	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00			
2	アスベスト対策							
3	ダニ・カビ等							
4	レジオネラ対策							
<b>4.2 換気</b>		-	-	<b>3.0</b>	0.38			
1	換気量	-	-	<b>3.0</b>	0.33			
2	自然換気性能	-	-	<b>3.0</b>	0.33			
3	取り入れ外気への配慮	-	-	<b>3.0</b>	0.33			
4	給気経路	-	-					
<b>4.3 運用管理</b>		-	-					
1	CO <sub>2</sub> の監視	-	-					
2	喫煙の制御	-	-					
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-			<b>2.4</b>
<b>1 機能性</b>		<b>1.0</b>	0.40	<b>2.2</b>	1.00			<b>1.9</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>1.0</b>	0.60	<b>2.0</b>	0.60			
1	広さ・収納性							
2	高度情報通信設備対応			<b>2.0</b>	1.00			
3	バリアフリー計画	<b>1.0</b>	1.00					
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>1.0</b>	0.40	<b>2.5</b>	0.40			
1	広さ感・景観	居室の天井高2.5m以上。				<b>4.0</b>	0.50	
2	リフレッシュスペース							
3	内装計画	<b>1.0</b>	1.00	<b>1.0</b>	0.50			
<b>1.3 維持管理</b>		-	-					
1	維持管理に配慮した設計	-	-					
2	維持管理用機能の確保	-	-					
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.6</b>	0.31	-	-			<b>2.6</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48					
1	耐震性	<b>3.0</b>	0.80					
2	免震・制振性能	<b>3.0</b>	0.20					
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>2.8</b>	0.33					
1	躯体材料の耐用年数	<b>3.0</b>	0.23					
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	<b>2.0</b>	0.23					
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	<b>2.0</b>	0.09					
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	<b>3.0</b>	0.08					
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の2種類以上にC以上を使用。		<b>4.0</b>	0.15			
6	主要設備機器の更新必要間隔	<b>3.0</b>	0.23					

2.3 適切な更新						
2.4 信頼性			1.4	0.19	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-
2	給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-
3	電気設備		1.0	0.20	-	-
4	機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-
5	通信・情報設備		1.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性			3.0	0.29	2.9	1.00
3.1 空間のゆとり		2.9m以上3.0m未満。			2.8	0.50
1	階高のゆとり				4.0	0.60
2	空間の形状・自由さ				1.0	0.40
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.50
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	2.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40	-	-
2 自然エネルギー利用			2.5	0.20	-	-
2.1	自然エネルギーの直接利用		2.0	0.50	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-
3	設備システムの高効率化	給湯器: 燃焼系瞬間式給湯器を使用。	4.0	0.40	-	-
4 効率的運用			-	-	-	-
4.1	モニタリング		-	-	-	-
4.2	運用管理体制		-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-
1 水資源保護			2.2	0.15	-	-
1.1	節水		1.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.63	-	-
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-
1	消火剤	ABC消火器を使用。	4.0	0.33	-	-
2	断熱材		3.0	0.33	-	-
3	冷媒		3.0	0.33	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-
1 地球温暖化への配慮			3.3	0.33	-	-
2 地域環境への配慮			1.8	0.33	-	-
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.3	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-
3	交通負荷抑制		3.0	0.33	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33	-	-
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-
2	振動		-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-